

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	男 50代	関節リウマチ (無症候性 HBV キャリア)	不明	劇症肝炎	
				中止約22年前	重度の関節リウマチ発症。 メトトレキサート，プレドニゾロン投与開始。
				中止約1~8年前	膝の滑膜除去術施行(計5度)。 通常はHBs抗原(-)で推移していたが，4回目手術時に HBs抗原陽性となった。以後陽性を持続(HBV-DNA 3.1)。 結核，ネフローゼ，気管支拡張症の既往あり。
				日付不明	関節リウマチ治療目的で，本剤及びアダリムマブ(遺伝子 組換え)投与開始(各薬剤の投与時期，投与量は不明)
				中止50日前	AST(GOT)20IU/L，ALT(GPT)26IU/L，総ビリルビ ン0.6mg/dL。
				中止8日前	風邪の訴えで来院。来院後2日たっても様子がおかしく， 血液検査実施。後に劇症肝炎と判明。
				中止3日前	AST(GOT)1257IU/L，ALT(GPT)2594IU/L，総ビリ ルビン3.7mg/dL。
				投与中止日	黄疸，意識障害で転院。肝性脳症II度，PT20%であり， HBV-DNA 8.6と上昇していたため，HBVによる劇症肝炎 の診断で入院。本剤，アダリムマブ(遺伝子組換え)，メ トトレキサート，プレドニゾロン他全ての併用薬中止。ス テロイドパルス，CHDF，血漿交換，エンテカビル水和物 で治療。
				中止5日後	気管支拡張症からの出血のため，呼吸状態保てず挿管。
中止11日後	肝機能回復見られず。				
中止17日後	死亡確認。死因はHBV再燃による劇症肝炎。				

臨床検査値

	中止50日前	中止3日前	中止2日後	中止6日後
AST(GOT)(IU/L)	20	1257	54	39
ALT(GPT)(IU/L)	26	2594	222	102
LDH(IU/L)	230	540	222	309
Al-P(IU/L)	225	396	244	244
総ビリルビン(mg/dL)	0.6	3.7	8.9	16.9

併用薬：プレドニゾロン，メトトレキサート，アダリムマブ(遺伝子組換え)，サラゾスルファピリジン，イソニアジド，L-アスパラギン酸カルシウム水和物，アルファカルシドール，ベンフォチアミン・ピリドキシン塩酸塩・シアノコバラミン複合カプセル，テプレノン，アンピロキシカム，アレンドロン酸ナトリウム水和物，ラロキシフェン塩酸塩，メコパラミン，クラリスロマイシン，プロムヘキシリン塩酸塩，アンブロキシソール塩酸塩，クロモグリク酸ナトリウム，フルチカゾンプロピオン酸エステル，チオトロピウム臭化物水和物

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用						
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置						
2	女 50代	重症筋無力症 (胸腺摘除)	0.5mg 約3ヵ月間 (11ヵ月間 休薬) 0.25mg 約3ヵ月間	赤芽球癆						
				投与約9年前	複視にて発症し、臨床症状と抗AChR抗体陽性より重症筋無力症(MG)と診断。 MG(MGF Aclass IIb)にて外来フォロー。その後胸腺腫を指摘され(正岡II期)、拡大胸腺摘出術を施行。					
				投与開始日	ステロイド減量目的で本剤0.5mg投与開始。					
				投与2ヵ月目 (投与中止日)	ヘモグロビン11.2g/dLから7.7g/dLの低下があり、採血及び骨髓所見にて赤芽球癆と診断。そのため、本剤の投与中止。 パルボウイルス陰性。					
				中止2ヵ月後	赤芽球癆は改善。					
				中止11ヵ月後 (再投与開始日)	再度ステロイド減量目的で本剤0.25mg再投与。					
				再投与1ヵ月目	ヘモグロビン13.2g/dLから11.7g/dLと低下、経過観察。					
				再投与3ヵ月目 (再投与中止日)	ヘモグロビンが7.6g/dLまで低下したため、本剤再度中止。					
			再投与中止1ヵ月後	ヘモグロビンが徐々に改善。						
臨床検査値										
	投与前	投与開始時	投与1ヵ月目	投与2ヵ月目	投与2ヵ月目 (投与中止日)	中止1ヵ月後	中止2ヵ月後	日付不明	再投与1ヵ月目	再投与3ヵ月目 (再投与中止日)
赤血球数(×10 ⁴ /mm ³)	420	360	345	332		372	431			
ヘモグロビン(g/dL)	11.2	9.7	8.7	7.8	7.7	8.3	11.6	13.2	11.7	7.6
血小板数(×10 ⁴ /mm ³)	20.3	19.6	18.5	21.6		36.2	24.9			
白血球数(/mm ³)	5400	4700	4200	5100		7350	6616			
併用薬：プレドニゾロン，アンベノニウム塩化物，ピリドスチグミン臭化物										